園長だより

NO.13 R6.7.1(Mon)

梅雨に入り、湿度も高く鬱陶しい季節ですね。でも…

園では梅雨の晴れ間や、ちょっとでも雨が止んでいると、子ども達は、

「先生～、雨、止んでるー！外行こ～！」と大張り切りです！

（空に手をかざして）

そして、そこかしこに出来ている水溜りに（早々に裸足になり）ポッチャン!!

満面の笑顔を輝かせています。そこから泥あそびに発展し、

泥団子をつくったり、泥温泉!?をつくったり、本当にダイナミックに

遊んでいます。

そんな中には、最初は泥あそびに戸惑い気味の子も正直居ますが、

周りで友達のあまりにも楽しそうな様子を目にし、やってみると…。

泥温泉に手を入れてみて、「あれっ?! あったかい!!」（その感触が心にも届き）

「何だか気持ちいい!!」と、気づけば誰よりも

弾けて、汚れも気にせず遊び込めるようになっていくんです。

特にもも組やうめ組さんは、「初めて」の遊び、「初めて」の

感触など、「初めて」の経験が多いと思います。

他者から学び、意欲が引き出され、自身が持っている力に

直結し、自分の心と体の成長に繋っていく。

結果、やはり「遊びは学び」である事を実感します。

日頃先生達から提出して貰っているコメントにも…。

「遊び」の中から、たくさんの力を引き出してあげたいと思います。

今日は皆で泥遊びをしました。気候も暖かく絶好の泥んこ日和でした。まだ入園して間もない子達ですが、何でもやってみる！を大切にしていけば、思っているより出来ることがあったり楽しめることがあるのではないかなと思います。子どもの「やりたい！」を全力で一緒に楽しめる保育者でありたいです。

特別なアイテムがなくても水溜り

ひとつで、どんどん遊びを広げ

られる志都呂幼稚園の子ども達の

豊かな感性に、改めて心から嬉しく

思い感心するこの頃です。